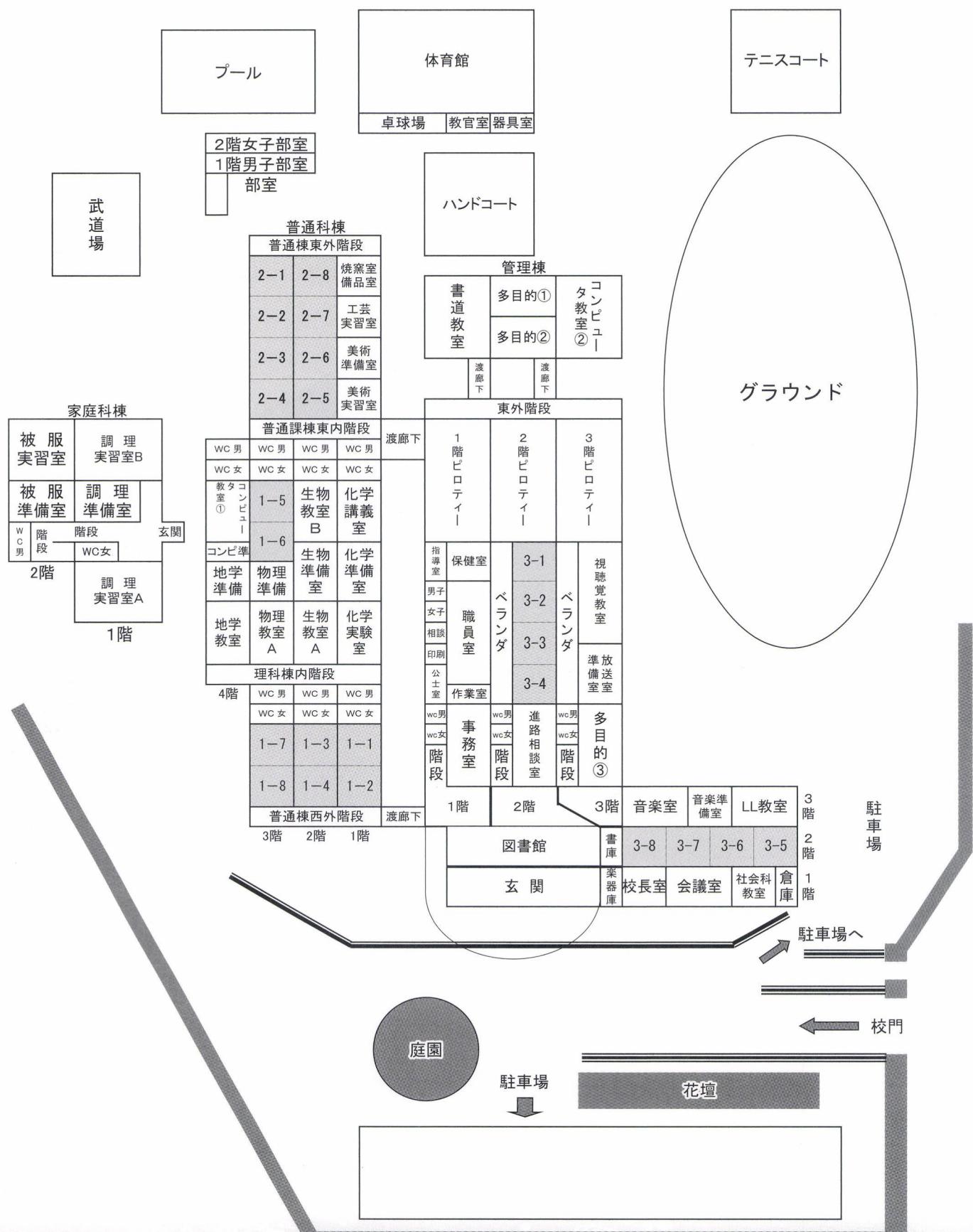


資料編

校舎、教室配置図 (平成27年度)



卒業生数一覧

期別	男子	女子	合計
1	18	17	35
2	64	49	113
3	102	97	199
4	83	82	165
5	94	118	212
6	132	117	249
7	87	63	150
8	95	71	166
9	100	80	180
10	96	80	176
11	104	87	191
12	106	110	216
13	105	121	226
14	105	83	188
15	100	87	187
16	121	171	292
17	132	164	296
18	120	164	284
19	82	157	239
20	98	189	287
21	190	310	500
22	135	276	411
23	175	272	447
24	219	333	552
25	180	414	594
26	205	398	603
27	185	398	583
28	155	412	567
29	163	411	574
30	145	409	554
31	150	415	565
32	185	385	570
33	163	409	572
34	171	400	571
35	183	328	511

期別	男子	女子	合計
36	195	346	541
37	169	337	506
38	160	273	433
39	152	272	424
40	158	249	407
41	117	188	305
42	125	176	301
43	104	182	286
44	118	187	305
45	117	194	311
46	103	243	346
47	98	239	337
48	131	198	329
49	110	182	292
50	107	188	295
51	113	170	283
52	125	181	306
53	133	160	293
54	134	168	302
55	110	176	286
56	139	147	286
57	131	157	288
58	147	146	293
59	123	181	304
60	144	148	292
61	150	129	279
62	119	129	248
63	141	108	249
64	121	116	237
65	150	150	300
66	154	149	303
67	133	142	275
68	138	176	314
69	148	143	291
70	132	173	305
計	9,197	14,180	23,377

過去10カ年における前原高校の勤怠状況の推移

年度		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
出席率(%)	1年	97.8	97.0	97.1	98.0	97.5	98.1	97.5	98.4	98.5	98.3	
	2年	97.4	96.8	96.5	97.5	97.1	96.9	97.5	97.5	97.6	98.1	
	3年	96.3	96.0	96.5	95.9	95.7	96.2	96.8	96.6	96.1	96.8	
	小計	97.2	96.6	96.7	97.1	96.8	97.1	97.2	97.5	97.4	97.7	
無届欠席日数	1年	543	220	228	254	110	78	96	63	17	24	
	2年	621	343	366	393	408	82	143	151	162	37	
	3年	684	432	443	404	722	464	181	248	169	79	
	小計	1,848	995	1,037	1,051	1,240	624	420	462	375	140	
遅刻	SHR	1年	1,767	1,153	1,342	1,101	564	395	414	276	203	210
		2年	2,134	2,659	1,428	1,690	1,212	621	445	473	333	180
		3年	2,358	2,181	2,631	1,457	1,787	1,079	608	568	677	410
		小計	6,259	5,993	5,401	4,248	3,563	2,095	1,467	1,317	1,213	800
教科	1年	1,972	1,308	1,432	1,368	668	193	220	98	37	33	
	2年	2,482	2,657	2,260	1,343	1,212	515	124	159	159	26	
	3年	3,686	1,349	3,905	1,232	1,579	642	469	132	148	101	
	小計	8,140	5,314	7,597	3,943	3,459	1,350	813	389	344	160	
欠課数	教科届出	1年	2,176	2,115	2,811	1,548	970	722	946	322	678	690
		2年	2,023	2,541	2,693	3,030	1,696	1,208	948	1,002	716	599
		3年	1,657	1,529	2,025	2,278	2,291	1,382	1,063	741	1,170	847
		小計	5,856	6,185	7,529	6,856	4,957	3,312	2,957	2,065	2,564	2,136
教科無届	1年	3,759	3,192	2,731	1,532	383	178	182	35	12	17	
	2年	6,060	6,300	5,296	3,473	2,474	377	439	162	101	28	
	3年	6,484	5,237	6,970	3,231	4,056	1,438	618	298	429	126	
	小計	16,303	14,729	14,997	8,236	6,913	1,993	1,239	495	542	171	
皆勤者数	1年	23	12	25	30	29	53	36	69	86	77	
	2年	24	28	15	33	38	33	62	53	56	83	
	3年	17	16	15	11	16	28	32	46	34	44	
	小計	64	56	55	74	83	114	130	168	176	204	
成績上位者数	1年	65	51	69	66	57	56	41	59	79	57	
	2年	57	74	59	74	70	60	72	68	66	83	
	3年	60	68	82	55	67	65	84	86	78	84	
	小計	182	193	210	195	194	181	197	213	223	224	
在年度籍数末	1年	270	246	317	314	285	321	299	309	318	319	
	2年	257	263	244	313	311	283	321	296	308	309	
	3年	283	251	255	236	304	305	242	315	291	305	
	小計	810	760	816	863	900	909	863	920	915	933	

湛水講演会（講師一覧）

H20年(2008年)前期		H20年(2008年)後期		H21年(2009年)		H22年(2010年)		H23年(2011年)	
比嘉 靖	39期	照屋 寛之	26期	金城 伸也	42期	仲西 小百合	39期	仲西 小百合	39期
宮平 進	41期	眞栄平 克雄	12期	仲西 小百合	39期	森屋 耕一	21期	高江洲 信之裕	63期
玉城 デニー	33期	金城 伸也	42期	森屋 耕一	21期	長浜 豊	28期	奥間 孝	37期
福原 敏	42期	喜久山 強	32期	川端 登	40期	伊禮 明日香	60期	澤嶽 京子	定7期
泉 恵得	21期	新屋 岩男	19期	長浜 豊	28期	眞栄平 孝裕	42期	田幸 正彦	25期
屋宜 正治	41期	喜屋武 義人	39期	大城 明	42期	天願 克也	42期	具志堅 清	24期
瑞慶覧 健	39期	島袋 亨	39期	竹島 勇	33期	高安 正勝	21期	嘉陽 宗章	36期
奥間 孝	37期	城間 正信	22期	伊禮 明日香	60期	浜端 良光	34期	金城 義三	18期
山根 悟	40期	勝連 盛豊	21期	神村 孝子	28期	具志堅 清	24期	安次嶺 通	22期
瀬良垣 守幸	41期	名嘉村 博	22期	藏元 勝彦	41期	嘉陽田 宏	58期	長浜 豊	28期
金城 伸也	42期	島袋 曜	20期	又吉 幸子	22期	平川 節子	15期	高安 正勝	21期
島袋 英之	41期	具志堅 宏清	20期	眞栄平 孝裕	42期	當山 貴巳	54期	宮里 勝二	31期
上地 健	41期	久田 亮太	19期	天願 克也	42期	新垣 祐二	63期	眞栄平 孝裕	42期
比嘉 美代子	22期	前原 正謙	11期	仲宗根 政勝	34期	高江洲 信之介	63期	森屋 耕一	21期
比嘉 ヨシ子	21期	金城 千代徳	10期	高安 正勝	21期	高安 藤	17期	宮城 葉子	30期
座間味 政光	19期	知念 信正	21期	吉本 茂文	41期	長堂 政順	19期	平川 節子	15期
國場 義博	40期	兼城 隆雄	38期	新垣 順司	42期	新崎 盛文	17期	新崎 盛文	17期
知念 正勝	18期			廣山 裕樹	54期	宮里 勝二	31期	平敷 武勝	19期
兼城 賢次	19期			上江洲 正	42期	比嘉 勝彦	57期	長堂 政順	19期
				平 正盛	24期	澤嶽 京子	定7期	名護 大樹	58期
				根川 富子	17期	大城 哲也	44期	幸喜 令信	17期
				具志堅 清	24期	宮城 葉子	30期	安座間 良勝	17期
				平良 辰二	26期	仲田 哲人	58期	伊禮 明日香	60期
						名護 大樹	58期	竹島 勇	33期

H24年(2012年)		H25年(2013年)		H26年(2014年)		H27年(2015年)	
新垣 壮大	35期	天願 浩辰	37期	比嘉 勝彦	56期	金城 伸也	42期
金城 義三	18期	金城 義三	18期	大嶺 憲志郎	67期	仲西 小百合	39期
宮城 葉子	30期	宮城 葉子	30期	大嶺 自八朗	41期	山田 健	27期
具志堅 清	24期	具志堅 清	24期	天願 綾子	20期	田場 亮平	64期
澤嶌 京子	定7期	澤嶌 京子	定7期	稻福 康浩	56期	大嶺 自八朗	41期
平川 節子	15期	喜納 育子	49期	東浜 一平	56期	東浜 一平	56期
天願 綾子	20期	宮里 成亮	48期	狩俣 行也	56期	知念 仁志	42期
幸喜 令信	17期	幸喜 令信	18期	上門 要	45期	上門 要	45期
安村 勤	37期	真栄城 勉	26期	金城 伸也	42期	與古田 光治	61期
安次嶺 通	22期	仲西 小百合	39期	末石 恵	58期	天願 浩辰	37期
山田 健	27期	山田 健	27期	山田 健	27期	武田 誠	35期
屋嘉比 あかり	47期	金城 康治郎	53期	桃原 泉	47期	赤嶺 孝徳	35期
宮里 成亮	48期	長浜 豊	28期	屋嘉比 あかり	47期	屋嘉比 あかり	47期
喜納 育子	49期	屋嘉比 あかり	47期	金城 康治郎	53期	桃原 泉	47期
金城 康治郎	53期	桃原 泉	47期	小潮川 百合子	24期	金城 康治郎	53期
眞榮平 孝裕	42期	眞栄平 孝裕	42期	眞栄平 孝裕	42期	眞栄平 孝裕	42期
長浜 豊	28期	金城 伸也	42期	又吉 直之	45期	又吉 直之	45期
仲西 小百合	39期	山室 江利子	55期	前堂 宏次	62期	安慶名 健	42期
高安 藤	17期	上門 要	45期	普天間 晃	62期	喜納 育子	49期
座間味 政光	19期	高良 黙	17期	安次嶺 通	22期	上江洲 安宏	39期
新崎 盛文	17期	平川 節子	15期	喜納 育子	49期	天願 綾子	20期
森屋 耕一	21期	森屋 耕一	21期	上原 恵子	30期	屋宜 世憲	39期
桃原 泉	47期	小潮川 百合子	24期	高良 黙	17期	上原 恵子	30期
赤嶺 幸徳	35期	平敷 武勝	19期	花城 可裕	57期		

県立前原高等学校創立70周年記念事業経過報告

平成25年

11月7日(木) 同窓会理事会にて創立70周年記念事業推進委員会会則(案)検討

平成26年

1月15日(水) PTA総務委員会にて創立70周年記念事業推進委員会会則(案)検討

1月17日(金) 職員会議にて創立70周年記念事業推進委員会会則(案)の組織編成について

5月12日(月) PTA代議員会にて創立70周年記念事業推進委員会会則(案)の組織編成について

5月29日(木) 同窓会理事会にて創立70周年記念事業推進委員会会則(案)検討

6月30日(月) 創立70周年記念事業推進委員会結成式

同窓会三役・理事及び各期代表、PTA三役、代議員

1. 推進委員会会則決定

2. 推進委員会役員決定(総務、財務、記念誌委員会発足)

3. 趣意書承認

4. 事業計画(学校車、楽器等購入、記念誌発行など今後の取り組みについて)

7月16日(水) 第1回推進委員会理事会及び財務委員会

7月～ 70周年記念Tシャツ及び記念グッズ販売開始
「趣意書」同窓会会員、一般企業等へ配布(ホームページに趣意書掲載)

8月5日(火) 第2回推進委員会・総務委員会にて資金造成事業について
Tシャツ販売について バザーについて ボウリングコンペについて

9月21日(日) 体育祭にてPTAバザー出店(資金造成)
70周年記念Tシャツ及び飲み物販売

10月18日(土) 第9回うるま祭にてPTAバザー出店(資金造成)
～19日(日)

11月8日(土) ボウリングコンペ開始(ドラゴンボールにて) ～平成27年8月31日

11月15日(土) ホームカミングデー(大同総会)にて趣意書及び70周年記念Tシャツ販売

12月17日(水) 第2回推進委員会理事会
資金造成事業に関する取り組み報告

平成27年

1月15日～ 卒業生保護者対象に寄付金協力呼びかけ

2月18日(水) 第3回推進委員会理事会
1. 資金造成のための企業依頼割り振りについて
2. 記念誌作成スケジュールについて
3. 記念講演会について

3月18日(水) 記念誌委員会 内容構成検討

6月6日(水) 創立70周年記念チャリティー
山田健 バリトンリサイタル(山田健リサイタル実行委員会)

- 6月10日(水) 記念誌委員会 記念誌印刷業者に係る条件説明会
- 6月24日(水) 第4回推進委員会理事会
資金造成事業状況 記念誌について 記念フォーラムについて
- 7月7日(火) 同窓会理事会 寄付金額について
- 7月27日(月) 記念誌委員会 記念誌印刷請負契約
- 7月19日(日) 資金造成PTAボウリング大会(ドラゴンボウル)
- 7月27日(月) 第5回推進委員会理事会
各委員会の取組状況報告 記念式典及び記念品について
記念フォーラムについて
- 8月10日(月) 折鶴アートデザインプロジェクトについて提案される((株)アドスタッフ博報堂)
- 8月18日(火) 記念誌委員会 原稿執筆者の選考及び記念誌掲載内容について
- 8月24日(月) 職員会議にて記念式典式次第及び祝賀会プログラムについて検討
- 9月10日(木) 第6回推進委員会理事会
1. 折鶴アートデザインプロジェクトについて
2. 感謝状受賞候補者について
3. 記念誌ダイジェスト版「あんやたん前原」発行について
4. 来賓・招待者について
- 9月26日(土) 学園祭にてPTAバザー出店(資金造成)
~27日(日)
- 10月20日(火) 楽器(コンサートビブラフォン、クラリネット等) 購入
- 10月29日(木) 第7回推進委員会理事会にて式典・祝賀会について最終調整
- 11月14日(土) 創立70周年記念フォーラム・式典・祝賀会
折鶴アート・70周年記念式典案内新聞掲載
- 12月28日(月) 記念誌委員会

平成28年

- 1月28日(木) 記念誌委員会 原稿チェック
- 2月8日(月) 記念誌委員会 原稿入稿
- 2月22日(月) 記念誌委員会 校正
- 2月25日(木) 記念誌委員会 校正
- 3月 会計監査
- 3月 解散総会(決算報告等)

前原高等学校創立 70 周年記念事業推進委員会会則

第 1 章 総則

第 1 条 (名称)

本会は、「前原高等学校創立 70 周年記念事業推進委員会」(以下「本会」という。) といい、事務局を前原高等学校内に置く。

第 2 条 (目的)

本会は、前原高等学校創立 70 周年を記念し、その記念事業を行うことを目的とする。

第 3 条 (事業)

本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 記念事業達成のための資金造成（募金活動）に関すること。
- (2) 教育環境の整備・充実に関すること。
- (3) 創立 70 周年記念誌の発行に関すること。
- (4) 記念式典、祝賀会の挙行に関すること。
- (5) その他の目的達成に必要なこと。

第 2 章 組織

第 4 条 (組織)

本会は、前原高等学校同窓会員、PTA、職員及び本会の趣旨に賛同する者を持って組織する。

第 5 条 (役員)

本会に次の役員をおく。

- | | | | | | |
|--------------|-----|----------|----|-----------|----|
| (1) 会長 | 1名 | (2) 副会長 | 5名 | (3) 顧問 | |
| (4) 相談役 | 若干名 | (5) 参与 | | (6) 専門委員長 | 3名 |
| (7) 監査員 | 3名 | (8) 事務局長 | 1名 | (9) 幹事 | 1名 |
| (10) 書記会計 1名 | | | | | |

第 6 条 (役員の選出)

役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、PTA 会長があたる。
- (2) 副会長は、同窓会長、PTA 副会長及び校長があたる。
- (3) 顧問は、会長が委嘱する。
- (4) 相談役は、会長が歴代校長の中から委嘱する。
- (5) 監査員、幹事、専門委員長、事務局長および書記会計は、会長が委嘱する。

第 7 条 (役員の任務)

役員の任務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括すると共に総会及び理事会の議長となる。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長不在時には会務を遂行する。
- (3) 専門委員長は、委員会を総括し、委員会の議長となる。
- (4) 相談役は、本会の企画・運営及び事業推進に関して助言を行う。
- (5) 監査員は、本会の経理を監査し、その結果を総会に報告する。
- (6) 事務局長、書記会計は、会長の指示により庶務会計などの事務を行う。

第8条 (役員の任期)

役員の任期は、本会の事業が完了し、本会の解散までとする。

第3章 会議

第9条 (会議)

本会の事業を推進するために次の機関をおく。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 専門委員会

第10条 (総会の運営)

総会の運営は、つぎのとおりとする。

- (1) 総会は、第4条の組織の代表と第5条の役員、第13条の専門委員で構成する。
- (2) 総会の開催は、結成総会、解散総会、及び会長が必要と認めたとき開くことができる。
- (3) 総会の議長は、会長があたる。
- (4) 総会の議事は、出席者の過半数を持って決定する。

第11条 (総会の議事)

総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会則の制定及び改廃
- (2) 事業計画と予算・決算の承認
- (3) 会務報告の承認
- (4) 解散の承認
- (5) その他必要な事項

第12条 (理事会の運営)

理事会の運営は次のとおりとする。

- (1) 理事会は、会長・副会長・専門委員長を持って構成し、必要に応じて相談役・顧問の参加を求めることができる。
- (2) 理事会は、会長が招集し議長となる。
- (3) 本会の推進に関する総合的な事業の企画・運営にあたる。
- (4) 総会に提案する議案を審議する。
- (5) 各専門委員会の事業の連絡・調整にあたる。

(6) その他、本会の事業目的達成のための重要事項の処理にあたる。

第 13 条 (専門委員会)

本会に、次の専門委員会をおく。

- (1) 総務委員会：記念事業全般の企画・運営、記念式典及び祝賀会の企画・実施に関すること。
- (2) 財務委員会：資金造成及び予算編成・執行に関すること。
- (3) 記念誌編集委員会：記念誌の編集・発行に関すること。

第 4 章 資金及びその他

第 14 条 (経費)

本会の経費は、寄付及びその他の収入をもってあてる。

第 15 条 (会計)

本会の会計は、事業完了を持って終わる。

但し、残金・財産が生じた場合は、生徒の教育に役立てるよう、校長で管理する。

第 16 条 (諸帳簿類)

本会は、次の帳簿類を備える。

- | | | |
|-------------|-------------------|-----------|
| (1) 会則 | (2) 事業計画および予算・決算書 | (3) 寄付者名簿 |
| (4) 金銭出納帳 | (5) 諸憑書類 | (6) 会議録 |
| (7) その他関係書類 | | |

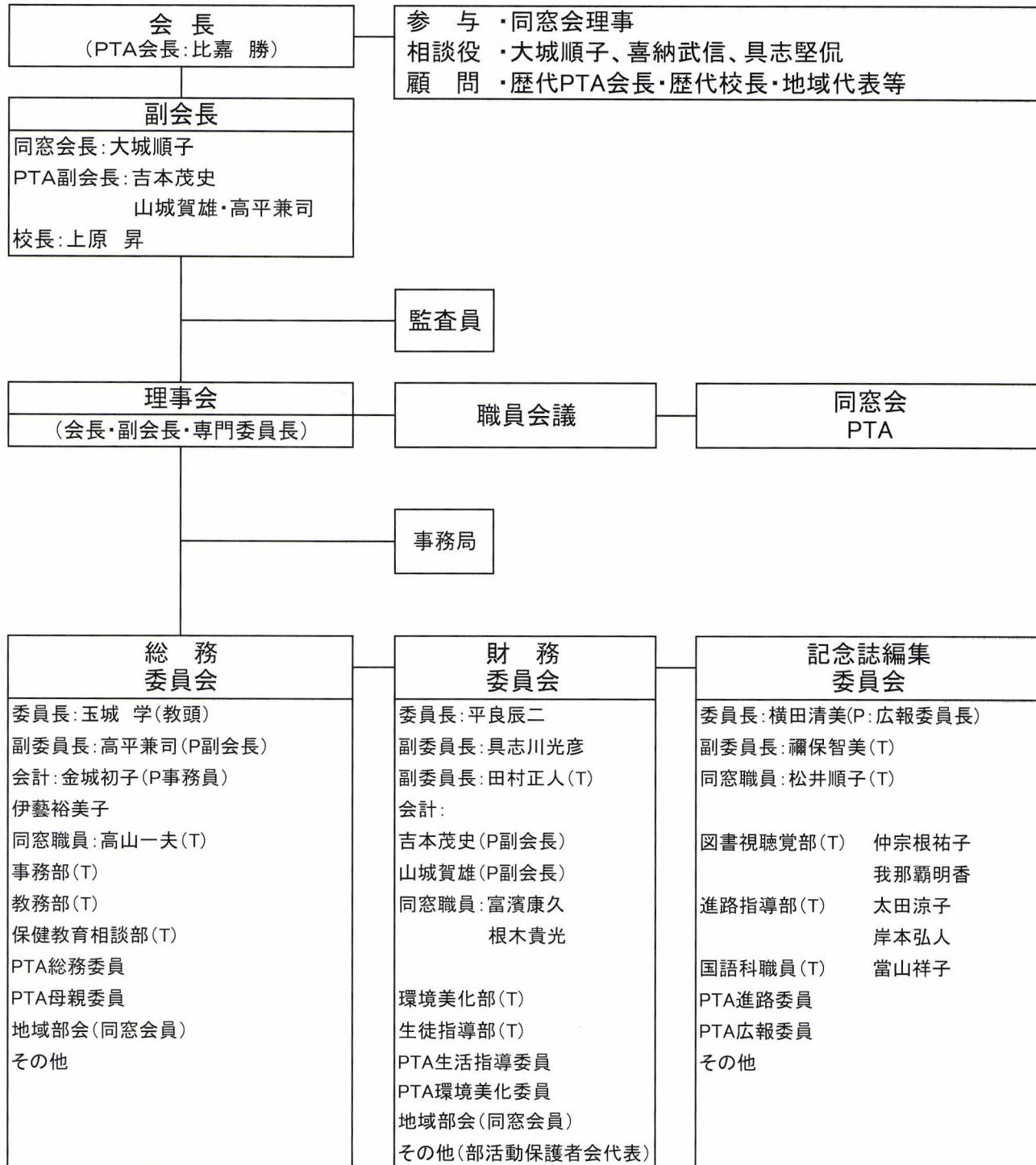
第 17 条 (本会の解散)

本会は、記念事業終了後、解散総会の決議をもって解散する。

附 則

本規則は、2014年7月1日より執行する。

前原高等学校創立70周年記念事業推進委員会組織図



※各委員会は、必要に応じて補充できるものとする。

※担任は、式典、担外は各委員会に属する。



沖縄県立前原高等学校創立 70 周年記念事業 募金趣意書

本校は、戦後間もない昭和 20 年(1945 年 11 月)に旧具志川村高江洲の高江洲初等学校の校舎内において開校式を行ない、2 度の移転を経てうるま市田場の地に落ち着き、平成 27 年(2015 年)で創立 70 周年を迎えることになりました。

その間、歴代教職員、生徒の真摯な努力はもとより、県及びうるま市や旧具志川市、勝連町、与那城町、PTA、同窓生並びに地域の方々のご協力により、輝かしい歴史と伝統が築かれました。卒業生は、これまでに 23,000 人余を数え、県内外の様々な分野で活躍しております。本校が地域社会の発展に果たしてきた役割は誠に大なるものがあると自負しております。

本校は、平成 6 年に普通科にコース制を導入し、教育の活性化を図って参りました。現在は、コース制(総合スポーツ、英語、文理)も充実してきており、特進クラスの設置や海外研修旅行の実施、さらには部活動の活性化など調和のとれた豊かな人間性の育成に努めております。

創立 70 周年という節目を迎えるにあたり、これまでの本校教育の歩みを振り返り、これからのお教育活動の取り組みをさらに充実・発展させるため、「創立 70 周年記念事業推進委員会」を組織し、教育環境の整備、学校車の購入、記念誌発行等の記念事業を推進することになりました。

つきましては、出費多端な折、誠に恐縮ではありますが、記念事業の趣旨にご賛同いただき、ご芳志並びにご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成 26 年 7 月吉日

沖縄県立前原高等学校
創立 70 周年記念事業推進委員会
会長(PTA 会長) 比嘉勝
副会長(同窓会長) 大城順子
副会長(校長) 上原昇
(公印省略)

創立 70 周年記念事業資金計画

目標額 12,000,000 円

学校車購入	7,000,000
環境整備費(備品購入等)	3,000,000
記念誌発行	1,000,000
記念式典・祝賀会	500,000
運営費・予備費	500,000

<振り込み先 指定金融機関>

- ①琉球銀行具志川支店
- ②沖縄銀行安慶名支店
- ③JAバンク具志川支店

<口座番号>

- (普) 716641
- (普) 1804751
- (普) 0056959

1 感謝状授与対象者

- (1) 歴代校長（60周年以降）
 - ①比屋根充 ②大城順子 ③具志堅侃 ④喜納武信
- (2) 歴代PTA会長（60周年以降）
 - ①宮里勝二 ②具志川光彦 ③大野紘詩 ④新垣壮大
- (3) 功労者
 - ①校医：普久原勉 ②歯科医：大嶺裕 ③薬剤師：筋初子 ④警備員：安里安秀
 - ⑤スクールカウンセラー：津嘉山るり子
- (4) 高額寄付者
 - ①専門学校日経ビジネス 学校長 長濱克実
 - ②学校法人KBC学園 理事長 大城眞徳
 - ③上門工業株式会社 代表取締役 上門信孝
 - ④沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二
 - ⑤オリオンビール株式会社 代表取締役社長 嘉手苅義男
 - ⑥安ゲ名自動車学校 代表取締役社長 屋宜世勇
 - ⑦株式会社コンピュータ沖縄 代表取締役 名護宏雄
 - ⑧海邦電子ビジネス専門学校 学校長 真榮城玄静
 - ⑨医療法人社団 志誠会 平和病院 理事長 小渡敬
 - ⑩渡建材 小渡重教
 - ⑪しげま小児科医院 志慶眞文雄
 - ⑫名嘉村クリニック 名嘉村博
 - ⑬幸喜令信（18期）
 - ⑭門口しづえ（19期）
 - ⑮山田健（27期）

2 高額寄付者一覧

専門学校日経ビジネス	昭和化学工業（株）	門口しづえ
学校法人KBC学園	赤嶺工業（株）	山田健
上門工業（株）	（株）普久原楽器	新里米吉
（株）沖縄環境保全研究所	（有）文正堂	兼城英眞
オリオンビール（株）	（有）サン企画	伊礼正
安ゲ名自動車学校	（有）クリエイト技研	佐久川政要
（株）コンピュータ沖縄	（有）昭和事務機社	金城千代徳
海邦電子ビジネス専門学校	（株）マイクマン	松根正廣
平和病院	教学館	比屋根充
渡建材	（有）キャッスルハイランダー	大城順子
しげま小児科医院	美里設備工業	具志堅侃
名嘉村クリニック	（有）グローリングサービス	喜納武信
（株）ぬちまーす	ウルトラグラフィックミラ	上原昇
沖縄管材（株）	渡久地縫製	幸良秋夫
仲本建設（株）	与勝スポーツ店	具志川光彦
（株）熱帯資源植物研究所	すながわ内科クリニック	比嘉 勝
官公学生服（株）	ぐしけん眼科	高平兼司
（株）求人おきなわ	ふくはら胃腸科・外科	徳森久和
（株）バイオマス再資源化センター	うるま空手サークル	
沖縄石油基地（株）	幸喜令信	

❖❖❖ 座談会あんやたん…かんやたん ❖❖❖

歴代会長語る

(同窓会長の部)

出席者 初代会長 久高 村夫 (1期卒) 2代会長 伊波 永晃 (2期卒)
 3代会長 金城弘太郎 (2期卒) 5代会長 比嘉 文雄 (2期卒)
 現副会長 中村 準 (3期卒)

司会 太田 義昭

司会 本日はお忙しいところ、お集まり下さいまして有難うございました。今まで各期の代表の方に色々と学生時代の思い出話を聞いていただきましたが、今日は同窓会の歩みについて色々と話していただきたいと思います。では同窓会の結成のいきさつについて、初の会長さんの久高さんにお願いします。

久高 我々第1期生35名が1947の7月に卒業した訳です。普通は学校の卒業式というの、3月の下旬に行われるのが通例ですが我々の場合は戦争中の中学生で、戦争中の在学期間を通算しますと丁度7月で満4ヶ月を終了した事になりますので、7月に卒業式を挙行した訳です。7月に卒業しますとすぐ同窓生になりますので同窓会をつくろうではないかという声が起きました、同窓会をつくりましたが、なにしろ、年が若くて会則とか同窓会のありかたとか、もちかたについて経験がありませんので新屋敷先生とか石川ゆき先生、翁長維行先生とか戦前の同窓会の運営等に経験のある先生方に会則をつくっていただいてお世話になった事が記憶に残っている訳で御座います。

司会 伊波さんは第2代の会長として、特に長い間頑張ってもらいましたが、勝連時代の印象的な事についてお願いします。

伊波 運動場はずっとあの西原の部落の入り口にありました、学校からそこに行くには不便であるので学校の下の泉のあるところを埋めて運動場にし

たらどうかという案が翁長先生から提案され、それをどういう方法でやるかという事になった訳です。PTAと同窓会の両方でやらなくちゃ出来ないではないかという事になって、その時分PTAの寄付金と同窓生の分担で着工した訳です。延日数にして56日位かかっています。金額はよく憶えていませんがその当時機械不足で、なにしろブルドーザーを2台工務局から借りてきた訳です。それが完全に働いたのは34~35日で、あとは雨にたたられて、はからなかった。その前に運動場の中に水源地があったので、ずっと西側の方に移動させてそこに井戸をつくってから埋め立てをした訳です。その場合に10周年記念の行事としてやった訳です。坪数にして3500位あるのではないかと思うが、まえは草ぼうぼうで整地してみると広い運動場ができ、それから生徒も充分に体育練習ができ、10周年行事として有意義であったと思う。その年にバレーが優勝し陸上は名護高について2位(1点差)になった。運動場開きのときに、全女の「グジンバー」をやり華やかにしてもらった。

司会 西原から移転と同時に金城さんが会長になられたのですね。

金城 そうです。丁度移転当時で、未だ校舎も整理されてないし、特に学校のヘイが建設されてないで外部からの美観もしまりにおいても出来てないということで、同窓会でもって学校の壇建設をやって

もらいたいということを要望されたので早速、同窓会として、これを移転事業としてやった訳で御座いますが、なにしろ同窓生の名簿にある住所と現住所が一致しないため、募金するのに非常に困難を感じました。特に私の場合、経済界におります関係上忙しくて殆んど内間副会長に面倒をみてもらいましたが、初期の目的を貫徹することができました事を喜んでいます。

司会 いよいよ 20 周年を迎える訳ですが現会長の比嘉さん何か……。

比嘉 今度の 20 周年記念事業としての図書館建設の期成会の方から 4 千ドルの割当てがあり、この金額は多すぎはしないか、募金出来るかどうか自信がなかったんですがやってみないとわからないと思いまして一応お引受けして募金を始めたのであります、始めたときが去ったオリンピックとかちあいましてまずかった。主旨徹底のために部落懇談会をやった訳でありますがオリンピックに邪魔されました、それと金城さんから先程話がありました名簿という事であります、私達の場合一応名簿は揃っていましたが住所のところがつかみにくくて特に 1 期から 5 期までは那覇に移動されている方がたくさんいましてその住所がわからない。それと女人達が結婚すると姓が変わりますので、住所も勿論変わりますが、部落の係の人達はそうとう苦労したのではないかと思います。その点では今 3500 弗位集まっていますが、これまでに持っていくには副会長の中村準先生の綿密な計画のもとに会計の中山茂先生、その他幹事や部落の係の方々が一生懸命にやってくれたお蔭だと思います。目標額にあと少しというところですが現在でも少しずつではありますが入ってきますので目標額を満たすことは出来ないかも知れ

ませんが努力していきたいと思っています。

久高 私の頃は別に事業もないし、皆んな学校を卒業して 20 ~ 22 才位までなので別に人集めの難しさや運営の難しさなどはなかった。私は 1 期 ~ 3 期までやりましたが同窓会や運動会などにも自分の母校即ち古巣がどのように変わったかをみたいという気持と悪友連中に久し振りにあえるという楽しみもあって始めの頃は実に 90 ~ 100 % の同窓生が集まつたのですが、そういった点では苦労しなかった。

伊波 勝連にあった場合は向こうで学んだせいか向こうにはいきやすかったのですがしかしこっちに移って来てからは何だか想い出がうすらいだせいかピッタリこないし又恩師もいないし、そういう面で足がにぶるのではないかなどということが時々話題にのぼりますね。

久高 それはね、釣りが好きで屋ヶ名やホワイトビーチによくいくが途中与勝中校（前の前原高校）の前を通るんだが田場の学校よりも古巣といった感じがし、なつかしい思いにひたることがある。松林は残ってないけれども勝連城がそこにあるし、その内側に寄宿舎があってよくいたずらをしたものでした。（もちろん、子供っぽいいたずらですが）学生時代の楽しみはいかにして先生のかんとくの目をのがれて悪いことをするかということで、その成功感が卒業しても印象に残っている。だから現在の前原高校をみても昔の思い出と結びつかない。確かにそれはある。

司会 そういう点について現在母校の前原高校に勤めておられる中村準先生どうお感じになっておられますか。

中村 やはり先輩方がおっしゃった感じですね。と

くに1期～3期まではすべての面で黄金時代であつて、やはり西原の方が思い出として残っていますね。発展的移転ですので勝連時代の伝統をうけついで在校生、卒業生がお互い協力しあうと、すばらしい学園が出来ると思います。場所は移ったにしてもやはり政治界、経済界、教育界その他の面で大活躍の前原高校の卒業生であり、又そのよい伝統をうけがんとする在校生ですので………。

司会 では同窓会長として後輩に対する希望を一言ずつお願いします。

金城 西原にある母校が発展のために田場に移転したのであって我々の母校も現在の前原高校であると考えていただいて今後とも盛り育てていこうではありませんか。

伊波 入会式の時にいつも話している事だが、卒業後の動行（住所、職場、姓変更）について同窓会の本部に連絡して欲しい。それがないために、住所欄、職業欄が空白になってしまふ。それから少なくとも年1回の定期総会には必ず出席し、後輩の学習活動をみたり又どういう環境で育っているかをみて後輩を激励して欲しい。

久高 それから後輩に接して感ずるんだけれど最近の若い卒業生又は生徒は活気がないという事です。紳士的であるということですが、もう少し将来に挑んでいくという意欲が我々の学生時代に比べて欠けているように感ずる。青年らしい意欲をもって欲しい。家庭の事情に余裕はあっても進学もしなければ、今から何かをなそうとする意欲にも欠けている。私はそれを非常にはがゆく思うのです。若し私が今10年位若ければと思う程ですね。

比嘉 現在前原高校に奉職している同窓生が十数名いますが、去った同窓会には外部からの会員はその

数よりも少なかった。そこで私は会員を集めようと思って生ビールを大量に注文し、最初は買って飲んでいただこうと思ったんだが人数が少なくビール会社に叱られそうなので、みんなにはかって会の予算から出してもらい無料で飲んだ事があります。おかげで私もビールをだいぶ飲みました。まったくビール作戦は水の泡ならずビールの泡と消えました。そこで伊波さんからも先程話がありましたように定期総会又は体育祭、文化祭には是非出席して欲しいと思います。又学校を訪問したら連絡して欲しい。去った体育祭にも同窓会員席がありましたが同窓生は一人もいない。確かにきているとは思いますが我々としてはわからない。同窓会員席に来ることによって、昔話をしたり、同窓会員としての仲間意識も高まるんではないかと思う。

中村 今度、図書館の中に同窓会事務所として一室もらっています。我々母校におるものとしても同窓会員が来校したら歓迎してあげたいと思っておりましても部屋がなくて困っていましたが今度からは部屋がちゃんとありますので、おおいに利用して欲しいと思います。去った体育祭など同窓生の演技がありましたが、きてはいてもなかなか参加してくれない。もう少し積極的であって欲しいですね。来校したら学校を廻ったり、図書館がどのように出来ているかなどもみてもらいたい。比嘉会長からも話がありましたが図書館建設のため募金は毎晩という位やりました。同窓会員の中には、大変熱心に協力して「カワセ」で送ってくる同窓生もいました。特に比嘉会長が陣頭指揮をとり、幹事の照屋寛吉、伊波永晃、内間義人諸氏及び各部落の係を始め同窓生の協力は他の同窓会では見られないと思います。やはり前原の同窓生はすばらしいと感じました。

比嘉 西原時代に屋外劇場で同窓会を開いた事がありましたがいっぽいしていましたね。1期～3期までだったと思います。同窓意識が濃厚で母校愛に燃えた時代でした。

金城 私の時代にも感じましたが同窓会に集まるのは1期から4期位まで、その後の同窓生が集まらない。同窓会長とか役員が先輩の方々だからそうになったのかなあーと考えた事もありましたが、とにかく集まらないで運営上困りました。

伊波 同期会を通じて会員意識を高める方法もあるんではないですか。

久高 私は2中の同窓でもあるので、向こうの会合にもでたが、集まるのは、大体50代～60代の方が多いですね。20代～30代は集まっていない。前原高校の同窓生はそういう会合に興味を持っていない連中を多く持っているということ、それが40代～50代になると自然に同期生がなつかしくて集まつてくるのではないかね。

金城 お互の場合は未だなつかしむ年頃じゃないものね。(笑い)

伊波 しかし、他の同窓会よりは運営、母校愛でもいい方じゃないかなあと思うんですがね。勿論、戦前からの学校は別として……

中村 図書館も出来たし学習雰囲気もよくなるし、後輩も自覚して学習活動に努力して欲しい。本地区の場合、学習面からみた場合（小中校含めて）他地区より劣るような気がするので同窓生が率先してリードしていくようにしてもらいたいと考えます。政治界、経済界、教育界その他の面で活躍している勝連時代の先輩達にまさるともおとらないように努力して欲しい。そのためには、がむしゃらに勉強することだ。

久高 卒業式前に同窓生に同窓生で各分野で活躍している主な先輩5～6名をまねいて話をしてもらってはどうかと思う。例えば、進学面だと大学に勤めている先輩、就職面であれば会社の経営者になっている先輩に「どういう人間を社会は欲しているか」等について話してもらったらどうかと思う。現在労働関係の仕事をしているが、よく就職の相談に若い卒業生が訪問してくるが、「人の訪問の仕方」「依頼の仕方」などが全然なってない。

金城 卒業後、すぐ実社会に出る人もいると思いますが、その中には学習面だけ勉強すればよいという誤った考え方をするのがいる。私達経済界におりますのが考えます事は、戦後の道徳の退廃、礼儀作法がなってないといわれていますが、上司などに対する敬語なども、お客様にも同じような態度で応対してもらいたいということであり、そういう教育をするために試験期間をもうけていますがその点、学校でも教育して欲しい。

司会 色々と有意義なお話有難う御座いました。最後に、本日、4代目の会長内間義人氏が都合で見えてないのは残念です。内間氏については、現副会長の中村さんも申されていたように壇建設募金の際に副会長として金城会長を補佐し、又金城会長の後をうけて会長となり、その後も今日まで同窓会の相談役として最大の協力をなさっていますことを申し添えたいと思います。



前原高等学校創立70周年記念チャリティ



山田 健 バリトンリサイタル

Ken Yamada Baritone Recital

Program [プログラム]

[沖縄の歌]

芭蕉布

花ゆらの花

童神 [天の子守歌]

[イタリアの歌]

遙かなるサンタ・ルチーア

禁じられた歌

グラナダ

その他

[つぶてソングより]

和合亮一：詩

新実鶴英：曲

あなたはどこに

なぜ生きる

夢があるなら

重なり合う手と手

オペラ「ドン・カルロ」よりヴェルディ

最後の時がやつてきた

オペラ「アイーダ」よりヴェルディ

アイーダとアモナズロによる二重唱

かぐわしい森に再び帰ろう

その他



[Soprano]
安座間 和美



[Piano]
大城 英明

2015 6|6 [土] **うるま市民芸術劇場 燐ホール** **全席自由** <入場料> 2,000円 未就学児入場不可

<OPEN> 午後 6:00 <START> 午後 6:30

■主催：山田健リサイタル実行委員会

■後援：うるま市教育委員会、前原高等学校 27期同期会、前原高等学校合唱部OB会、前原高等学校同窓会（むつみ会）

●お問合せ 宮城：TEL.090-1946-7638 田幸：090-1944-4148 うるま市民芸術劇場：TEL.098-973-4400



編集後記

平成 26 年 6 月 30 日、創立 70 周年記念事業推進委員会の結成総会以降、記念誌発刊に向け、これまでに発刊された本校の記念誌に目を通す事から始まり、他校の記念誌も参考にしながら、原稿依頼、掲載写真の選択、資料の収集、校正、不備はないか？ もっと載せなくてはならないものはないか？ 61 周年から 70 周年の 10 年間の内容は 70 周年記念誌の責務である。と位置付け、企画編集計画を立てるのはたやすい事でしたが、実際には、原稿依頼、資料収集諸々と悪戦苦闘の連続でした。同窓であり元職員の座間味正光先生の指導助言、参与として影の力持続的存で支えて下さり、発刊に到りました。座間味先生の存在は心強く感謝に堪えません。

取り組むなかで、前原高校の沿革を紐解き、本校の歩んできた歴史の数々、60 周年以降、母校を少しでも良くしたいと奮闘する歴代の校長先生を始めとする諸先生方、職員、P T A 等関係者、の熱い思いと実践力が、大きな成果を導き出し築き上げた 70 周年目の前原高校。この節目に立ち会えた在校生にとって心に深く刻みこまれたに違いありません。この熱き思いと輝く生徒らを 70 周年記念誌を通して皆さんに届けられたら幸いです。

70 周年期成会の集大成である記念式典では、折鶴アート広告の効果もあって、本校にゆかりのある多くの方々が集い、共に祝い喜びを分かち合い歓談する和気藹々とした皆様の写真も記念誌に収めることができました。また、校長先生の配慮により式典参加者全員に配布された記念誌ダイジェスト版は感動を生み大絶賛でした。

創立 70 周年に関連する諸記念事業を成功に導き、ご尽力下さいました期成会会長はじめ役員の皆様、校長先生をはじめ諸先生方、同窓会の皆様に敬意と感謝を申し上げます。またレイアウトでは、精印堂印刷の津波様には、色々とご尽力いただきました。誌面をかりてお礼を申しあげます。おかげさまで、前原高校の誇り高き歴史と数々の思い出を、創立 70 周年記念誌「肝高」として書き遺す事が出来ました。関係者各位と共に喜びたいと思います。

本校創立 70 年の歴史を踏まえ、新しい時代を担う生徒が夢や目標をもって活躍する学び舎、前原高校の益々のご発展を祈念申し上げ編集後記と致します。

〈創立 70 周年記念誌編集委員〉

委員長：横田清美 参与：座間味正光

禰保智美 松井順子 仲宗根祐子 我那覇明香 太田涼子 岸本弘人 當山祥子

前原高校創立70周年記念誌
平成28年3月発行

発 行 創立 70 周年記念事業推進委員会
〒 904-2213 沖縄県うるま市字田場 1827
TEL. 098-973-3249、973-3644
FAX. 098-974-4951

編 集 創立 70 周年記念誌・同窓会名簿募金名簿作成委員会
表紙題字 新垣美旺 (70期生)

印 刷 (資) 精印堂印刷
〒 902-0072 那覇市字真地 399-3
TEL. 098-832-1311

